

授業科目 心理測定法

【担当教員名】 高橋 直樹	対象学年	2	対象学科	言語・社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修(言語)・選択(社会)
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

心理学が科学として成立して、これまでに作り上げてきた「心」の測定法についての知見を示す。
 まず、心理測定法の概念・歴史・方法などについて概観した後、測定の内容を「性格特性」「社会的行動」「認知機能」などの領域ごとに分類して、体験学習も交えながら、心理測定法に関わる重要な事項について学習する。
 また、観察法やプロトコル法、及び、統計の理論と実際についても学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 「人間を測定するとはどういうことか」という問いに対して、自分なりの意見を述べることができる。
2. 心理測定の方法・歴史・方法について説明できる。
3. 心理測定の各論について、要点を理解し、説明できる。
4. 統計の理論と実際について、説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	人間を測定するとはどういうことか	1, 2	講義
2	パーソナリティ・アセスメント	3	講義・実習
3	性格特性の測定	3	講義・実習
4	社会的行動の測定	3	講義・実習
5	認知機能の測定	3	講義・実習
6	観察法・プロトコル法	3	講義・実習
7	統計の理論と実際	4	講義・実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特になし(適宜プリントを配布する)。			
参考書	心理検査ハンドブック、塩見邦雄、ナカニシヤ出版、1998			
その他の資料	適宜プリントを配布する。			
【評価方法】 定期試験 出席状況 受講態度	【履修上の留意点】 学生の積極的な授業参加を期待する。 遅刻・早退・授業中の私語や飲食などは、大幅な減点対象となる。 本講義の学習内容を、医療福祉の現場において活用しようとする姿勢が求められる。			

社会福祉学 専門